



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月2日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7446 URL <http://t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)工藤 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理グループ長 (氏名)築館 宏治 (TEL) 0172(33)8131
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	10,038	7.1	128	30.5	185	72.0	86	127.0
23年9月期第2四半期	9,369	△6.5	98	△46.1	107	△45.4	38	△49.1

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 130百万円(145.4%) 23年9月期第2四半期 53百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	18 15	— —
23年9月期第2四半期	7 99	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第2四半期	10,643	4,241	39.8	886 06
23年9月期	9,183	4,148	45.2	866 78

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 4,241百万円 23年9月期 4,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	— —	0 00	— —	8 00	8 00
24年9月期	— —	0 00	— —	— —	— —
24年9月期(予想)	— —	— —	— —	15 00	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	8.9	241	79.1	303	87.4	110	350.7	22 98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	4,800,000株	23年9月期	4,800,000株
24年9月期2Q	13,481株	23年9月期	13,481株
24年9月期2Q	4,786,519株	23年9月期2Q	4,792,419株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞、欧州金融危機や10月のタイの洪水などの影響による国内景気下振れ懸念がありました。また、為替相場の円高修正や日経平均株価の上昇など明るい兆しが見受けられるものの、国内景気動向はまだまだ予断を許さない状況下にあります。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ売上高は、100億38百万円と6億69百万円(7.1%)の増収、営業利益は、1億28百万円と30百万円(30.5%)の増益、経常利益は、貸倒引当金戻入額44百万円を営業外収益に計上したため、1億85百万円と77百万円(72.0%)の増益、四半期純利益は、86百万円と48百万円(127.0%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品では、半導体液晶関連企業の生産調整で減産傾向にあったものの、前年同四半期は震災があった為前年同四半期を上回りました。また、同関連機器についても、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で58億92百万円と7億43百万円(14.4%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は6億5百万円と67百万円(12.5%)の増収となりました。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬では、各種医療機関での共同入札などの影響を受け、取り巻く環境は非常に厳しい状況で推移したため、臨床検査試薬は前年同四半期を上回りましたが、同関連機器は前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で31億89百万円と77百万円(△2.4%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は3億49百万円と50百万円(△12.6%)の減益となりました。

(食品添加物)

食品添加物では、原料不足による生産調整やデフレ影響による消費低迷など厳しい環境でありましたが、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、8億45百万円と27百万円(3.3%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は1億3百万円と6百万円(7.0%)の増益となりました。

(その他)

その他では、価格競争の激化や過剰在庫等により厳しい環境であり、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は1億10百万円と23百万円(△17.5%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は24百万円と0百万円(3.3%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、14億60百万円増加し、106億43百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、13億68百万円増加し、64億2百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、92百万円増加し、42億41百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により現金及び預金が増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、11億59百万円増加し、19億21百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は12億62百万円（前年同四半期は、1億56百万円の取得）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額1億23百万円があったものの、仕入債務の増加額12億92百万円及び税金等調整前四半期純利益1億80百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は50百万円（前年同四半期は、10百万円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出35百万円及び投資有価証券の取得による支出8百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は51百万円（前年同四半期は、53百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払額38百万円及びリース債務の支払による支出13百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第1四半期までの業績動向を踏まえ、平成23年11月14日に公表した平成24年9月期の通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,786	1,977,346
受取手形及び売掛金	4,236,851	4,263,997
商品	502,991	626,409
繰延税金資産	18,712	20,517
その他	118,736	115,616
貸倒引当金	△43,840	△4,086
流動資産合計	5,646,238	6,999,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	481,405	467,779
土地	1,317,199	1,317,199
リース資産(純額)	101,116	109,834
その他(純額)	222,294	251,118
有形固定資産合計	2,122,014	2,145,931
無形固定資産		
のれん	653	—
その他	10,384	13,343
無形固定資産合計	11,038	13,343
投資その他の資産		
投資有価証券	647,397	705,831
リース投資資産	342,182	299,745
その他	452,707	512,495
貸倒引当金	△38,323	△33,395
投資その他の資産合計	1,403,964	1,484,676
固定資産合計	3,537,017	3,643,950
資産合計	9,183,256	10,643,751
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,207,839	5,499,975
リース債務	111,783	112,863
未払法人税等	48,583	104,163
賞与引当金	30,500	27,910
その他	88,419	133,816
流動負債合計	4,487,125	5,878,728
固定負債		
リース債務	416,390	381,591
繰延税金負債	24,825	35,063
退職給付引当金	15,576	21,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
役員退職慰労引当金	61,257	61,280
その他	29,212	24,312
固定負債合計	547,263	523,872
負債合計	5,034,389	6,402,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,416,403	2,464,986
自己株式	△6,557	△6,557
株主資本合計	4,111,345	4,159,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,521	81,221
その他の包括利益累計額合計	37,521	81,221
純資産合計	4,148,867	4,241,150
負債純資産合計	9,183,256	10,643,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	9,369,277	10,038,776
売上原価	8,311,422	8,956,346
売上総利益	1,057,854	1,082,430
販売費及び一般管理費	959,146	953,661
営業利益	98,708	128,768
営業外収益		
受取利息	2,183	2,229
受取配当金	3,558	3,692
貸倒引当金戻入額	—	44,545
その他	6,145	7,716
営業外収益合計	11,887	58,184
営業外費用		
支払利息	87	71
持分法による投資損失	2,569	1,656
その他	372	180
営業外費用合計	3,028	1,908
経常利益	107,566	185,044
特別利益		
固定資産売却益	533	—
投資有価証券売却益	2,856	—
役員退職慰労引当金戻入額	4,000	—
その他	268	—
特別利益合計	7,657	—
特別損失		
固定資産圧縮損	2,728	—
投資有価証券評価損	4,617	—
投資事業組合運用損	3,430	4,274
その他	694	—
特別損失合計	11,470	4,274
税金等調整前四半期純利益	103,753	180,770
法人税、住民税及び事業税	53,413	100,049
法人税等調整額	12,063	△6,154
法人税等合計	65,476	93,895
少数株主損益調整前四半期純利益	38,276	86,875
四半期純利益	38,276	86,875

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,276	86,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,931	43,700
その他の包括利益合計	14,931	43,700
四半期包括利益	53,208	130,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,208	130,575
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	103,753	180,770
減価償却費	31,448	37,218
投資有価証券評価損益(△は益)	4,617	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,856	—
投資事業組合運用損益(△は益)	3,430	4,274
引当金の増減額(△は減少)	△9,810	△41,201
受取利息及び受取配当金	△5,741	△5,922
支払利息	87	71
持分法による投資損益(△は益)	2,569	1,656
固定資産除売却損益(△は益)	△533	—
固定資産圧縮損	2,728	—
売上債権の増減額(△は増加)	366,490	△24,435
たな卸資産の増減額(△は増加)	△88,098	△123,417
仕入債務の増減額(△は減少)	△141,370	1,292,165
その他	△7,409	△19,667
小計	259,305	1,301,511
利息及び配当金の受取額	5,748	5,355
利息の支払額	△87	△71
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△108,230	△44,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,735	1,262,465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,029	△35,782
有形固定資産の売却による収入	4,973	—
無形固定資産の取得による支出	—	△4,848
投資有価証券の取得による支出	△25,057	△8,078
投資有価証券の売却による収入	12,580	—
その他	4,634	△2,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,897	△50,973
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,000	76,000
短期借入金の返済による支出	△20,000	△76,000
配当金の支払額	△43,628	△38,214
その他	△10,159	△13,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,787	△51,933
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	92,050	1,159,558
現金及び現金同等物の期首残高	637,298	761,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	729,349	1,921,345

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品添加物	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,149,601	3,266,855	818,917	133,902	9,369,277	—	9,369,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,149,601	3,266,855	818,917	133,902	9,369,277	—	9,369,277
セグメント利益	537,569	399,831	96,682	23,771	1,057,854	—	1,057,854

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品添加物	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,892,601	3,189,658	845,987	110,528	10,038,776	—	10,038,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,892,601	3,189,658	845,987	110,528	10,038,776	—	10,038,776
セグメント利益	605,028	349,359	103,490	24,551	1,082,430	—	1,082,430

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、前連結会計年度において「その他(食品添加物・農薬)」に含まれていた「食品添加物」について量的な重要性が増したため、「食品添加物」及び「その他」をそれぞれ区分掲記しております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき組替えたものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。